

第4章 県民協働によるユニバーサルデザインの推進

～ 全 県 的 展 開 へ ～

誰もが地域で自分らしく安全に暮らせる住みよいまち、安心して子どもを生み育てることができる社会を実現するためには、すべての人の日常生活や社会生活に、県内すべての分野にユニバーサルデザインの考え方を浸透させ、様々な場面で取り入れていく必要があります。

ユニバーサルデザインの取組を効果的に進めていくにあたっては、県民、CSO、企業、行政等が、自らの役割を認識し、主体的な参加によって、相互に連携・協働し、県民総参加による全県的な取組として展開していくことが重要です。

1. 県の役割

県は、「福祉のまちづくり条例」や「公共施設ユニバーサルデザイン取組方針」等により、先導的にすべての人にやさしいユニバーサルデザインのまちづくりの取組を行うとともに、ユニバーサルデザインの考え方により福祉、産業、教育、環境等の幅広い分野にわたり、各部局が連携し、率先してユニバーサルデザインの取組を推進する必要があります。

このため、職員にユニバーサルデザインの考え方を浸透させるため、積極的に意識啓発を行うとともに、現在のユニバーサルデザイン庁内推進会議において、推進の全庁的な連携・調整等を図っていくこととし、県における一体的かつ計画的なユニバーサルデザイン推進の管理体制を整備します。

また、推進にあたっては、県民、CSO、企業、市町村に対して、ユニバーサルデザインの考え方の浸透とそれに基づく自主的な取組が必要なことから、広報やインターネットの活用、フォーラムの開催など、普及活動を行うとともに、意見、情報交換の機会を設けてできるだけ多くの方々の意見を反映させていきます。

さらに、全県的な展開を図るため、民・産・学・官が一体となって推進する組織「佐賀UD推進会議（仮称）」を創設し、ユニバーサルデザインの取組について、その評価や進行管理・情報発信等を行うこととしております。

2．市町村の役割

市町村は、ユニバーサルデザイン推進の趣旨を十分理解し、住民に最も身近な行政機関として、住民の積極的な参画を得て、関係機関・団体などと連携しながら、まちづくり、教育、交通など様々な分野において、主体的に施策を展開することが必要です。

また、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた先駆的モデル事業の実施などにも取り組むことも重要です。

さらに、住民に対するいろいろな機会や手段を通じたユニバーサルデザインの普及・啓発や、学校教育をはじめとした様々な学習の場を設けるなど、だれもがユニバーサルデザインについて知り、学ぶ機会を提供することも必要です。

3．県民の役割

県民の皆さんには、ユニバーサルデザイン社会の実現に向け、まず身近でできるところから、主体的に取り組んでいただくようお願いいたします。

多様な人々に対する理解を深めることが第一歩で、困っている人に積極的に声をかけることや、視覚障害者用誘導ブロックの周辺に自転車を放置しないことなど、マナーを守る心を持ち、自然にさりげなく行うことから始めていきましょう。

また、行政や企業などに対し、建設的な提案として、問題点や改善方法の提案を行うとともに、ユニバーサルデザインを推進するNPOやボランティア等CSOへ積極的に参加するなど、県民一人ひとりが、自分の問題として推進のための活動を行い、活動の輪を広げることが重要です。

4．CSO等民間団体の役割

様々な分野において県民が自発的に社会貢献活動等を行うCSOなどの民間団体は、利用者のニーズが多様化、高度化する中で、地域社会を支える重要な担い手です。

このことから、ユニバーサルデザインの推進についても、ユニバーサルデザインの考え方の普及、利用者の多様なニーズの集約・公表、個人レベルの活動のネットワーク化、行政、企業等へ利用者の意見の集約や改善に向けての提案など、積極的な活動を行っていくことが望まれます。

また、活動に際しては、より多くの利用者、企業、他の団体などと連携・協働を図り、地域密着型のまちづくりや人づくりなどユニバーサルデザイン推進の民間活動の中心的な担い手のひとつとして、その役割を果たすことが求められています。

さらに、民間団体の立場から、県、市町村などのユニバーサルデザイン推進の取組に対して積極的に協力することも重要です。

5 . 企業の役割

企業は、地域社会の一員として、利用者への製品・サービスの提供、従業員の雇用などはもとより、事業活動を通じて環境活動や社会貢献活動にも積極的に取り組む責任があり、その責任は極めて大きいものがあります。(企業の社会的責任： CSR)

その責任の大きさを自覚し、利用者にとって真に安全・安心で利用しやすいもの(製品)・サービスの提供、従業員にとって働きやすい職場環境の整備を積極的に進めることが求められています。

また、職場や業界内におけるユニバーサルデザインの考え方の普及啓発やユニバーサルデザインを先頭に立って推進する人材の育成などを行いながら、事業活動の中で具体的なユニバーサルデザインの取組を進めていくことが必要です。

さらに、企業は、製品の企画立案から製造、廃棄にいたるまでのすべての過程に責任を有しており、利用者が安全・安心して製品を利用できるよう、製品情報について公開することや、製品の企画立案の段階から多くの利用者の意見を聞き、それを製品づくりに反映する仕組みづくりを進めていくことが必要です。

CSR

企業は、経営者や株主ばかりでなく、顧客、従業員、取引相手さらには地域住民の利益を実現することが求められている。経営者は企業をそのような社会的存在として運営していく責任とされ、一般的に「企業の社会的責任」と言われています。